



Akajima Marine Science Laboratory 阿嘉島臨海研究所

〒901-3311 沖縄県島尻郡座間味村字阿嘉179

ホームページもご覧下さい。 <http://www.amsl.or.jp>

TEL:098-987-2304 FAX:098-987-2875 E-mail:amsl@oki-zamami.jp



●今年の白化でサンゴは死んでしまうのか？

ーサンゴの白化 2016年ー

今年も台風が来ませんね。前号のアムスルだよりで書いたように、今年は台風ができるのがずいぶん遅く、ようやく7月になって1号が発生したのですが、その後は立て続けに発生するだろうとか、海水温が高いので大型台風になり被害が大きくなるだろうなどと予想されていたので、びくびくしていました。それに島ではデイゴの花が盛んに咲いて、「デイゴの見事な年は、台風の当たり年」といわれるので、なおのこと心配していたのですが、まったく台風は接近せず、別の心配をしなければならなくなりました。それは、サンゴの白化現象です。これも前号で書いたのですが、すでに昨年のうちから、今年の沖縄周辺の海水が高くなって大規模な白化が起きるかもしれないと言われていました。そして、7月ごろからテレビや新聞などで報道されて

いるとおり、それが現実になっているのです。

今盛んに報道されているのは石西礁湖や沖縄本島周辺で、特に石西礁湖では広い範囲で90%以上のサンゴが白化してしまっているとのこと。そして、どうやら白化したサンゴが死亡し始めているようで、このままでは多くのサンゴが死んでしまうと思われます。では、慶良間のサンゴはどうなのでしょう。

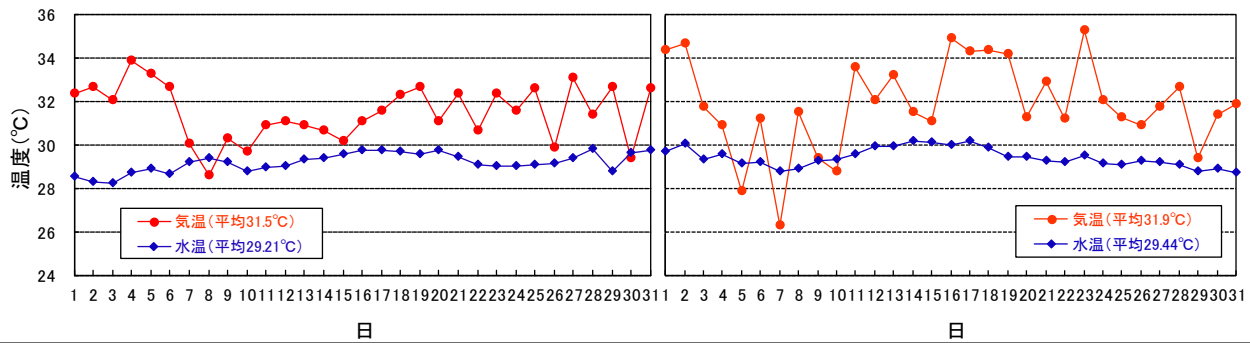
8月のはじめごろから、サンゴが白化しているという話をダイビングショップの人から聞き始めていました。クマノミのすんでいるイソギンチャクも白くなっているとか、場所によっては白いサンゴだらけだというような話も耳にしました。けれど、実際にどのくらいのサンゴが白化しているのか、白化したサンゴの多くが死にそうなのか、それともほとんどは生き残りそうなのか、やはり実際に調べてみないとはっきりしたことはわかりません。そこで、水温が下がり始める前で、きっと白化のピークになるだろうと思われる9月のはじめに豊島さんと谷口さんといっしょに阿嘉島を中心に慶良間の14地点で調査をしました。今データを詳しく整理しているところですので、大まかなことしか書けませんが、調査した結果を簡単にお知らせしましょう。

白化というのはサンゴの体内に共生している褐虫藻がいなくなってしまうこと

定点観測

2016年 7月

2016年 8月



ですが（ですから“白化”と言っても、例えば青い色素を持つサンゴは白化しても青があざやかになるだけで必ずしも白くはなりません）、ひと言に白化と言っても群体全体がすっかり白化する場合もあれば、一部だけの場合もあります。また、白化の程度が軽くて群体全体が淡い色になるだけの場合もあります。ここでは、そのすべてをあわせて白化ということにします。

結論から言うと、今回調査した 14 地点のうち 8 地点では白化したサンゴの割合は 60%以下で、また、3 地点では 65～80%ですが、ほとんどが部分的な白化で、これから水温が下がれば死亡するサンゴはあまりいないのではないかと思います。この点からは、慶良間の白化はそれほどひどくはないと言えるのですが、問題は残りの 3 地点で、座間味島の北側の 2 地点と屋嘉比島の北側の 1 地点の特に浅場では、すっかり白化してしまったサンゴが多く、座間味北の 1 地点ではすでに一部のサンゴが死んでいました（冒頭の写真）。残りのサンゴも、たぶん無事ではすまないでしょう。これらの地点では、浅場のサンゴの半数以上が死んでしまうかもしれません。これは深刻な被害ですが、ただし、幸いなことにちょっと水深が深くなると、白化の割合は少なくなっていましたので、そうした白化のひどい地点でも、浅場以外では多くのサンゴが

生き残るのではないかと考えています。

とはいえ、白化したサンゴが今後どうなるのかは、水温変動にもよりますし、実際に時間がたつてみないとわかりません。白化自体もサンゴや環境の様子を伝える大切なことではありますが、その結果としてサンゴが死んでしまったのか、それとも回復したのかが、さんご礁の生態系のためにはさらに重要なことです。1～2 ヶ月後にもう一度調査をして、白化の結末がどうなったのか調べてみようと思います。

●阿嘉島の海より

サンゴの状態を調べることはさんご礁生態系の現状を知るためにとても大切なことです。そこで、毎年あか・げるまダイビング協会の人たちの協力のもとに「モニタリングサイト 1000 さんご礁調査」をおこなっています。今年も 10 月下旬から 11 月にかけて実施したいと考えています。本文に書きましたが、特に今年の調査は白化したサンゴがどうなったのかを調べる重要なものになります（実はそのために、今回書いた白化調査のほとんどの地点は、モニタリングサイト 1000 調査と同じ場所で、2 つの調査の結果を比較することで、白化の後何が起きたかがわかるようにしました）。ぜひたくさんの方のみなさんに協力していただきたいと思っていますので、よろしくお願いします。